

Buenos Dias!

マドリッド通信 No. 2
マドリッド日本人学校
金口 英樹
2011. 8. 1

みなさん、こんにちは。スペインのマドリッド日本人学校に派遣されている金口英樹です。スペインでの生活も2年目を迎えました。今年度も引き続き、マドリッド日本人学校やスペインの様子についてのレポートをお伝えしたいと思います。

今年度のマドリッド日本人学校は、小・中学部児童生徒合わせて12名のスタートでした。少人数ながらも、そのよさを生かした一人一人を大切にする教育を行っています。1学期の行事の様子をお伝えします。

運動会～参加者全員で盛り上がりました！～

どこまでもぬけるような青空のもと、今年度の運動会がマドリッド日本人学校校庭にて盛大に行われました。今年度の運動会は赤団と白団の2チームに分かれての対抗戦形式で行いました。本番を迎えるまで、各団の団長、副団長が中心となり、チーム一丸となって練習や準備に取り組んできました。

当日は、赤団「一致団結～炎のように燃え上がれ～」、白団「ペガサスのように速く跳べ～We Are The Champion～」のスローガンのもと、各種目に真剣に、そして時に楽しく取り組むことができました。さらに今年度は、児童生徒や保護者の方の参加種目だけでなく、来賓の方や来校者のみなさんにも参加していただく種目も準備し、多くの方々に参加していただき、盛り上げていただきました。



チャリティーイベント～復興を願って～

3月に東日本で起こった震災の様子は、スペインの各メディアでも大きく報道されました。震災後はスペインでも、日本を支援する募金活動やチャリティーイベント等の活動が各地で行われています。

マドリッド日本人学校でも6月4日に、チャリティーイベントを行いました。この日は日本人学校の体育館を会場に、多くの地元の方々や在留邦人の方々が集まってくださいました。児童生徒が手作りのポスターを掲示したり、手作りの募金箱で募金を呼び掛けたりしました。また、ボランティアでギターオーケストラの方々や演奏してくださったり、スペイン人忍術研究家グループの方々や演武を披露してくださったりしました。

改めまして、震災で亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、現在も避難所生活を送っている皆様、また復興に向けてご尽力されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。遠く離れた地からですが、日本を応援し続けます！

¡Ánimo Japón! (がんばれ日本!)



盆踊り大会～日西交流の場～

7月10日に第17回を数えるマドリード日本人会主催による盆踊り大会が開催されました。今年には日本の復興を願って「がんばれ！日本！」をテーマに開催されました。この日は、小学部児童が踊り「キッズソーラン」を、中学部生徒が太鼓「どんどん囃子」を披露しました。児童生徒たちは、「がんばれ！日本！」の気持ちを日本まで届けようと、大きな掛け声とともに元気に演技しました。6月から始まっている体験入学に来ている児童生徒たちも加わり、大人数での披露となりました。多くの観客に囲まれ緊張気味の子どもたちでしたが、堂々と自分たちの演技を披露することができました。また、盆踊り「マドリード音頭」にも参加して元気に踊りました。にぎやかな祭りの雰囲気の中、夜が更けていきました。



スペイン紹介コーナー ～スペインのお米について～

日本人の主食であるお米。スペインの主食といえばパンやパスタなど小麦ですが、お米も栽培されています。米の産地として有名なのが、スペインの東海岸沿いにあるバレンシアという地域です。米以外でもオレンジの栽培でも有名な地域です。夏にバレンシアを訪れると、一面に広がる水田地帯を見ることができます。



【バレンシアの水田】



【魚介とともに煮込んだパエージャ】

米を使った料理で有名なのが「パエージャ(スペイン風炊き込みご飯)」ですが、他にも「アロース・コン・レチエ」といって、牛乳で米を煮込んだデザートなどもあります。スペインでは、米は主食というよりは、おかずの一つとしてパンと一緒に食べられています。加熱しても粘り気があまり出ません。炊くよりも、炒めたり炊きこんだりする方に向いていると思います。